

クリーンな船橋の街づくりに寄与する運動

取材日：平成23年（2011年）1月20日

【活動目的】

現在、JR船橋駅周辺ではタバコのポイ捨てが多く、これらのごみをただ処理するだけでは、ごみの減少は期待できません。船橋たばこ商業協同組合では、販売店の責任として、清掃活動や、通行人にポイ捨て禁止を呼びかける活動を通じて自粛を促し、クリーンな船橋のイメージアップを図ります。

【活動内容】(支援対象経費総額 235,000円 支援金確定額 0円 ※支援金の交付を受けず事業を実施)

JR船橋駅南口及び北口周辺にて、船橋たばこ商業協同組合婦人部による、清掃活動を毎月一回行うとともに、通行人にポイ捨て禁止の呼びかけの活動を行う。また年に数回、未成年者の喫煙防止を呼びかけるためのティッシュ配布などの街頭活動を行う。

【活動の現場から】

活動当日は、1月20日の大寒で最低気温は1度という暦通りの寒い朝でした。そんな中、午前10時に市内各地から、組合員の方13名がJR船橋駅に集まりました。お揃いの緑の帽子とエプロン・マナー向上を呼びかけた旗を掲げて、ポイ捨てタバコを中心とした清掃活動が始まります。始めてみると、次々に吸殻が目につきます。駅前のメイン道路は比較的きれいなのですが、一歩横道に入ると、道路の脇・排水溝の付近・自動販売機の近くなどに吸殻が落ちているのが目立ちます。最近ではガムがとても多いそうで、タバコの代わりにしているのでは？というお話しでした。作業を終える頃には、それぞれのごみ袋にたくさんのごみが集まりました。

清掃作業は、単に道路がきれいになるというだけでなく、吸殻を拾っている姿を見てもらう事によって、ポイ捨て防止へのアピールになっていると感じました。



清掃活動

【取材を終えて】

参加者の方のお話に「以前よりポイ捨ての吸い殻が少なくなった」との言葉が有りました。早朝から市内各地の販売店の方がそれぞれ集まり、黙々と吸い殻を集める姿は少しずつ市民に良い影響を与えている結果といえると思います。しかし「吸うな・捨てるな」と同時に、喫煙する場所を決めてルールをきちんと守ってもらうべきであり、そのためにも喫煙所の設置を検討する事も必要であると感じました。



船橋たばこ商業協同組合の皆さん

| |
|--|
| 関わり先（連絡担当者） 船橋たばこ商業協同組合 理事長 佐々木 吉憲 TEL：047-438-7678 |
|--|